

# ご家族のQ&A窓口 返信用 第1号

## ご家族向けかわら版

発行元：家族支援委員会、ご家族向けかわら版発行担当者  
発行日：令和2年10月31日



1. 退院後は自宅で過ごすことばかりです。働いて欲しいのですが、仕事に向けて、どうしていったらいいのか、どう話せばいいのか悩みます。

何から始めたらよいですか？（70代父母、外来通院中）

お子様の就労について「何から始めればよいのか」お悩みとのことですが、今回こちらに「投稿」いただいた行動自体がその検討を前に進められていると思います。ご投稿ありがとうございます。

就労を考える上では、ご家族としても「仕事ができるほど病状は安定しているのだろうか」「どんな仕事が本人に合うのか」「集中力は続くだろうか」「朝起きられるだろうか」「人とコミュニケーションはうまくとれるか」など様々な疑問や不安が浮かぶと思います。いずれにしても、ご本人の回復段階や状態に合わせて段階的なステップを踏んでいくことが大切になります。そのためにもまずは、今のご本人が就労を目指すうえで、どの段階にあるかについて主治医にご相談することをお勧めします。

なお、当院にはステップの一つとして、就労の準備も含めて心身のリハビリを行う外来作業療法（OT）やデイケアといった通所サービスがありますが、地域にも様々な施設や制度などの社会資源（サービス）がございます。例えば、当院関連のNPO法人アイ・キャンにも就労訓練を行う事業所があります。

そのような社会資源のご紹介も含めた相談業務を、当院では「総合相談支援室」に勤務するソーシャルワーカー（精神保健福祉士）が担っております。今のご本人のステップにあった社会資源について知りたい際には、ぜひ一度、「総合相談支援室」にお問い合わせください。

\*お読みいただいているご家族様へ

今回投稿いただいたご家族様のように、家族としてご本人にどう関わればいいのか悩んでいる方は多くいらっしゃるかと思います。当院では家族教室や家族会などでご家族同士の交流の場を設けておりましたが、コロナウィルス感染症拡大に伴い、現在はどちらも休止中です。そこで、ご家族のQ&A窓口では、かわら版で紹介した投稿に対する、他のご家族様からのご意見やアドバイスも募集しておりますので、是非ご投稿ください！お待ちしております！

ご家族の方の多くは同じような疑問やお悩みをもっています。あさかホスピタルでは、そういった不安や悩みを少しでも軽く出来ればと考え、「ご家族のQ&A窓口」の返信用として「ご家族向けかわら版」を創刊しました。皆様のからの疑問やお悩み、感想に応え、それらを共有する事で、ご本人はもちろん、ご家族が元気になれるようアドバイスや情報を発信できればと考えていますので、ぜひお読みください！

2. どういう病気なのか、治るのか。外来ではデイケア等に通っていたが、何のために、何をしているのか？ 本人に任せきりでよくわからない。

（40代夫、入院中）

この度はご質問をお寄せいただきありがとうございます。ご自身で奥さまのことを理解しようとしているその姿勢が、奥さまの今後の治療にとっても大切なことです。

まず、「どういう病気なのか」との質問ですが、同じ診断名でも現れる症状や感じる困りごとは人によって様々です。一概に説明をすることが難しい部分もありますので、面会の際などに説明を受けたい旨をお声掛けいただければ、お悩みに合ったスタッフとの相談の機会を作らせていただきます。

「治るのか」という疑問も、ご家族として当然の心配ですよね。もちろん、ご自身の病気と上手にお付き合いしながら生活しておられる方はたくさんいらっしゃいます。奥さまに合った生活の仕方や、治療の見立てについては、ぜひ一度主治医とお話ください。そうすることで、どのように支えていけば良いか、今何ができるのか等が整理できるかと思えます。

当院のデイケアは、生活リズムの構築や人とコミュニケーションをとる機会の創出、就労を目指した体力の向上やスキル獲得などを目的に心身のリハビリをして頂く通所サービスです。詳細に関しましては、パンフレットをご用意している他、スタッフによる情報提供や見学も可能ですので、こちらもお気軽にお声掛けください！

\*ご家族のQ&A窓口\*

当院では、家族からの質問やお悩み、ご感想、他家族へのアドバイスなどを募集しております。ぜひ、皆様の「生の声」をお聞かせください！

右のQRコードかURL、または、あさかホスピタルのホームページ「ご家族の皆様へ」から、ご家族のQ&A窓口専用の投稿フォームに移動できます。

※内容によっては返信できないものもありますのでご了承ください。



<https://asakahospitalworkshop.com/subscribe/31>